

◆令和5年(2023年)度 短期行動計画◆

運営方針 <sup>1</sup> 熊本の暮らしを支える	取組の方向性	1 全県域を対象としたサービスの提供	(1) 市町村立図書館等との連携 (2) 市町村立図書館等への支援		
		2 生活や仕事に役立つサービスの提供	(1) 県民や地域の課題解決への支援 (2) 関係機関等との連携		
令和5年(2023年)度の取組					
重点取組事項	年度当初の計画		年度末の総括		
	具体的事業と実践内容	【目標】	実施時期(予定)	取組の実施状況及び成果と課題	次年度への志向等
① 全県域への資料の提供	<p><b>【1】インターネット予約貸出サービスの拡大と利用増進</b> インターネット予約貸出は、水俣市、阿蘇市、上天草市、山鹿市を除く市町村(熊本市22館、熊本市外37館)と連携しており、連携協力館とは綿密な連絡体制の下、互いに利用増進に向け周知を行う。また、未連携自治体とは課題を把握・共有し連携に向けた協議を継続する。 【対象館 48箇所】</p> <p><b>【2】オンラインでの利用申請の検討</b> 対面及び郵送による利用申請に加えて、利便性向上のためにオンラインでの利用申請方法を検討する。</p> <p><b>【3】電子図書館導入についての検討</b> 将来的な電子図書館の導入の是非について、市町村教育委員会等からの意見を伺いながら検討を行う。</p>	【目標】	年度		
② 市町村立図書館等への支援	<p><b>【1】市町村立図書館等への研修の充実</b> 市町村立図書館職員の研修機会を増やすため、研修の要望についてアンケートを実施し、オンラインや県立図書館における館内研修での受け入れなどにより実施するとともに、参加が困難な職員に向け、市町村支援ページに資料等の掲載を行う。 【年2回】</p> <p><b>【2】相互貸借のオンライン化による負担軽減の検討</b> 市町村立図書館の負担を軽減し、利便性向上を図るため、相互貸借(県→市町村)について蔵書検索からオンラインで申請できる方法を検討する。</p>	【目標】	年度  年度		
③ 資料や各種サービス等の周知と利用の拡大	<p><b>【1】図書館サービスについての周知と利用拡大</b> SNSを利用した積極的な情報発信について継続して取り組むとともに、利用者がアクセスしやすい時間帯に発信するなど、周知の効果が高まる手法を検討し実施する。</p> <p><b>【2】読書バリアフリーサービスの充実</b> 熊本県読書バリアフリー推進計画に基づき、読書に困難を感じている方々に向けたサービスの充実と読書バリアフリーについての周知を行う。</p>	【目標】	通年  年度		

◇中期行動計画(第1次)における成果指標の目標達成状況◇

成果指標	計画時の現状	2023年度の目標値	2023年度の目標値	2023年度の実績	達成率	評価
総合的な満足度	73%	80%	80%	%	%	
相互貸借の貸出冊数	1,379冊	1,500冊	1,500冊	冊	%	
相互貸借の市町村カバー率	44.4%	60%	60%	%	%	
団体貸出の利用件数・貸出冊数	115件 27,633冊	130件 30,000冊	130件 30,000冊	件 冊	% %	
研修会の実施回数・参加者数	8回 450人	16回 800人	16回 800人	回 人	% %	

☆評価について☆

評価	評価基準
S	達成率100%以上
A	達成率80%~99%)
B	達成率60%~79%)
C	達成率60%未満

◆令和5年(2023年)度 短期行動計画◆

運営方針 <sup>2</sup> 熊本の学びを支える	取組の方向性	1 熊本で学ぶ人に役立つサービスの充実	(1) 「調べる図書館」としての機能の強化 (2) 学びの場や学びを共有する機会の提供
		2 熊本を学ぶ人に役立つサービスの充実	(1) 熊本に関する資料や情報の充実 (2) 熊本に関する資料や情報の提供と発信

令和5年(2023年)度の取組

重点取組事項	年度当初の計画		年度末の総括		
	具体的事業と実践内容	【目標】	実施時期(予定)	取組の実施状況及び成果と課題	次年度への志向等
① 調べる活動の支援	<b>【1】データベースの利用促進のための周知</b> データベースの利用方法及び内容について、資料を見直し配布するとともに SNS 等での発信を行う。併せて館内表示を刷新しデータベースの利用促進につなげる。 <b>【継続】</b>	通年			
	<b>【2】県立図書館の資料を紹介する取り組み</b> アンケートの結果を踏まえ、ビジネス関連の蔵書を強化するため、中小企業診断士と連携・協力し、ビジネス関連資料の収集を行い SNS など周知する。 <b>【実施】</b>	通年			
② レファレンスの充実	<b>【1】レファレンススキル向上のための研修実施</b> レファレンス利用者の満足度を上げるため、継続したレファレンス事例の共有を行うとともに、レファレンスツールの活用方法について研修を実施する。 <b>【年3回】</b>	5月・10月・2月	年度 通年		
	<b>【2】レファレンスの利用促進を意識した取組</b> レファレンス促進のため、関連する館内掲示物の見直しを行い、来館者がレファレンスを依頼しやすい環境を作る。また、来館しなくとも、気軽にレファレンスを依頼できることを PR するため、レファレンスの事例紹介を SNS で発信する。 <b>【実施】</b>				
③ インターネット等を活用した情報の提供	<b>【1】市町村図書館専用ページの充実</b> 市町村図書館専用ページを情報の提供手段として有効に活用し、「国立国会図書館等が開催する研修会」、「研修成果等の報告」、「県立図書館の取組」及び「日本図書館協会等からの情報」などの発信により充実させる。 <b>【実施】</b>	通年	年度		
	<b>【2】レファレンス事例の提供</b> 特別な内容及び技術的な見地から全国に周知すべきものを精査し、レファレンス共同DBに提供する。 <b>【100件以上】</b>				
④ 熊本に関する資料や情報の充実	<b>【1】郷土資料・新聞記事等の紹介</b> SNS を活用し、「郷土資料のコレクション」や「郷土に関する内容の新聞の切り抜き」、「雑誌の特集記事」、「当館資料の博物館等での展示・テレビ等での紹介」に関する情報を発信する。 <b>【4テーマ実施/年間】</b>	通年			

◇中期行動計画(第1次)における成果指標の目標達成状況◇

成果指標	計画時の現状	2023年度の目標値	2023年度の目標値	2023年度の実績	達成率	評価
レファレンスの件数	6,992件	18,000件	18,000件	件	%	
レファレンスの満足度	65%	80%	80%	%	%	
ホームページのアクセス数	156,950件	250,000件	250,000件	件	%	
当館利用団体等による発表会の実施回数	0回	10回	10回	回	%	

☆評価について☆

評価	評価基準
S	達成率 100%以上
A	達成率 80%~99%)
B	達成率 60%~79%)
C	達成率 60%未満

◆令和5年(2023年)度 短期行動計画◆

運営方針 <sup>3</sup> 熊本の文化を発信する	取組の方向性	1 熊本の文化を守る取組の充実	(1) 館内資料の保存 (2) 館外資料の保存	
		2 熊本の文化を発信する取組の充実	(1) くまもと文学・歴史館との連携による情報発信 (2) 多様な方法を駆使した情報の発信	
令和5年(2023年)度の取組				
重点取組事項	年度当初の計画		年度末の総括	
	具体的事業と実践内容	【目標】	実施時期(予定)	取組の実施状況及び成果と課題
① 貴重資料等の修理・修復の推進	【1】 県立図書館職員による資料保存管理の徹底 害虫トラップ調査の実施や、館内の清掃管理の徹底により、資料保存のための環境づくりに取り組む。また、市町村に向け、活動の普及に取り組む。 【実施】		通年	
	【2】 資料保存に留意した取り扱い方法、利用者への資料の提供の判断基準を学ぶ 経年劣化した古文書や昭和初期の貴重な資料の取り扱いについて館内研修で知識と技術を習得する。 【館内研修の実施】		年度	
	【3】 「図書館資料保存のための維持管理行為に係る研修指導業務」の実施 【館内研修7回】		年度	
	【4】 県立図書館職員による貴重資料等のクリーニング・補修の実施 県立図書館職員で対応できる修理・修復に関しては積極的に行っていく。また、市町村専用ページを活用し、市町村に情報提供を行う。 【古文書30点】		通年	
② 貴重資料等のデジタル化と提供	点数 カット数 【1】 貴重資料等のデジタル化 【120点(6000枚以上)】 システム更新時のデジタルアーカイブの改修にむけて、デジタル化作業を進める。		通年	
	【2】 HPのデジタルアーカイブのリニューアル システム更新時にデジタルアーカイブを刷新し、先進事例を参考に、親しみやすくわかりやすいシステムにする。また、デジタル画像の整理を進め、より多くの資料の情報発信ができるようにする。 【実施】		年度	
	【3】 貴重資料等の複本の作製 貴重資料や古文書などの複製を継続して行う。 【40点】		年度	
	【4】 資料のデジタル化等に関する研修等への参加 当館のデジタルアーカイブを充実させるために、各課(班)のデジタル化やホームページ担当者は、積極的に研修やセミナーに参加し、最新技術や先進事例をについての知識を習得する。 【研修会参加2回/年】		通年	
③ くまもと文学・歴史館との連携	【1】 特別展「文字が語る古代のくまもと」開催 熊本にゆかりのある国宝の木簡をはじめ貴重な歴史資料の展示を行い、熊本の歴史・文化の魅力を発信する。 【実施】		年度	
	【2】 くまもと文学・歴史館における情報発信 文学・歴史館における展示会(常設展、企画展3回、収蔵品展2回)及びマンガコーナー、図書館ギャラリーの活用等により熊本の文化の発信を行う。 【実施】		年度	
	【3】 くまもと文学・歴史館YouTubeチャンネルによる動画での情報発信を行う 企画展の紹介及び関連講演会の動画配信を行う。 【実施】		通年	

◇中期行動計画(第1次)における成果指標の目標達成状況◇

成果指標	計画時の現状	2023年度の目標値	2023年度の目標値	2023年度の実績	達成率	評価
貴重資料等の修復点数	4点	30点	30点	点	%	
貴重資料等のデジタル化点数	5,897点	7,000点	7,000点	点	%	
郷土資料の利用提供数	10,252点	11,300点	11,300点	点	%	
文学・歴史館入館の当館利用への影響度	37%	50%	50%	%	%	

☆評価について☆

評価	評価基準
S	達成率100%以上
A	達成率80%~99%
B	達成率60%~79%
C	達成率60%未満

◆令和5年（2023年）度 短期行動計画◆

運営方針④ 熊本の未来を創造する	取組の方向性	1 熊本の次世代を担う子どもの育成に向けた取組の充実	(1) 子ども図書室における取組 (2) 学校や家庭、地域との連携
		2 図書館の充実と発展に寄与するための取組の充実	(1) 図書館を支える人材の育成 (2) 図書館振興に関する情報の発信

令和5年（2023年）度の取組

重点取組事項	年度当初の計画			年度末の総括	
	具体的事業と実践内容	【目標】	実施時期（予定）	取組の実施状況及び成果と課題	次年度への志向等
①子ども図書室の取組の充実	<p>【1】子ども図書室の開館へ向けた取り組み 令和6年春の開館に向けて、未来を担う子どもたちの豊かな感性や創造力を育み、県民に未永く愛される施設となるよう、県民参加型の図書館運営の在り方を検討するとともに、開館後の運営が遺漏なく行われるよう検討を進める。 【実施】</p> <p>【2】定例おはなし会と特別おはなし会の開催 【実施】</p> <p>【3】子ども図書室の見学・団体利用・インターンシップ・実習への対応 公共図書館の役割を啓発し、次世代が図書館を有効に活用できるよう、保育園や幼稚園・小中高・大学生等の図書館見学・団体利用・実習を受け入れる 【実施】</p> <p>【4】家庭への選書・読書支援 インターネット等を利用して、子ども図書室の展示情報や展示リストを参照できるようにし、展示テーマ別の選書情報を提供する。 【情報提供 展示リスト作成（10回）】</p> <p>【5】市町村図書館への読書支援 子供の読書活動推進のために、指導者を養成する講座を開催 【実施】</p>	【目標】	年度 通年 随時 通年 年度		
②学校図書館への支援の充実	<p>【1】学校図書館司書に研修会の実施 学校図書館の運営に必要と思われる「児童生徒の利用促進について」や「読書バリアフリーについて」「レファレンス対応について」などの資質向上を目的とした研修会を実施する。 【実施】</p> <p>【2】相互貸借の手続き簡略化 学校図書館の負担を軽減し、利便性向上を図るため、相互貸借（県→学校）について蔵書検索からオンラインで申請できる方法を検討する。</p>	【目標】	6月下旬 年度		
③図書館職員等の研修の充実	<p>【1】県立図書館が主催または共催する研修会の実施 【7回】 ※館内研修の市町村立等職員の参加も含む ・主催・共催研修会の動画配信(オンライン)による研修会の実施(再掲) 【2回】</p> <p>【2】肥後っ子いきいき読書環境づくり事業に基づく指導者養成講座の開催(再掲) 【1回】</p> <p>【3】市町村立図書館等への巡回訪問研修の充実(再掲) 【1回】 ※巡回訪問研修については参加しやすい在り方としてオンラインで全県域を対象として開催予定</p> <p>【4】外部研修への職員の参加と情報発信 【5回】</p>	【目標】	通年 随時		

◇中期行動計画（第1次）における成果指標の目標達成状況◇

成果指標	計画時の現状	2023年度の目標値	2023年度の目標値	2023年度の実績	達成率	評価
子ども図書室の貸出冊数	79,264冊	90,000冊	90,000冊	冊	%	
おはなし会の参加者数	1,415人	1,500人	1,500人	人	%	
子ども文庫の利用件数・貸出冊数【再掲】	26件 7,813冊	35件 10,000冊	35件 10,000冊	件 冊	% %	
研修会の実施回数・参加者数【再掲】	8回 450人	16回 800人	16回 800人	回 人	% %	

☆評価について☆

評価	評価基準
S	達成率100%以上
A	達成率80%～99%
B	達成率60%～79%
C	達成率60%未満